

わがまち まごめ

発行 大田馬込地区推進委員会
 事務局 馬込出張所
 大田区中馬込3-25-5
 ☎ (3774) 3301 (代)

馬込の坂シリーズ (4)



坂の名前の付け方には、その土地の地名や地形から、または人の名前など、いろいろのケースがありますが、今回ご紹介する「鑿坂」は、伝説をもとに名付けられた坂です。

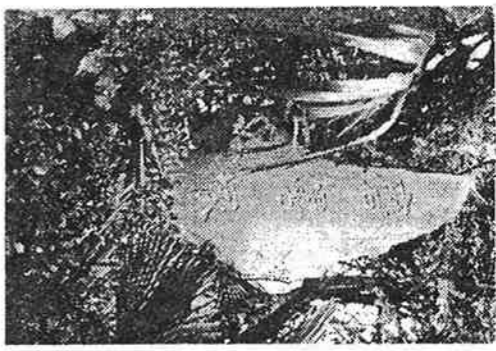
南馬込四丁目4と12番の間、日本たばこ大田社宅脇を上る坂道が「鑿坂」です。

下からは田んぼで道はありませんでした。は三四尺(1メートル)程の畦道で、坂は三つに分かれています。この坂は、ひと昔前閑静な住宅街を通るこの坂は、ひと昔前大田社宅脇を上る坂道が「鑿坂」です。

この坂の名は、鎌倉時代の武将梶原源太景季の愛馬磨墨伝説によるものです。

磨墨は、宇治川の合戦で佐々木四郎高綱と先陣を争って武名をあげた梶原景季の乗馬で、伝説では、この馬込の産馬だったといわれています。

その後、磨墨はこの地にもどりましたがその頃、正治2年、今から約80年前馬込の道は考えられぬ程の山道で、今のバス通りも細く険しい尾根道でした。磨墨はぬるみに足を取られ誤って谷に転落したと伝えられています。その時磨墨の鑿が反対側の谷にはねとんだところからこの谷一帯の土地(南馬込四丁目)を「鑿ヶ谷」とよんでい



名馬磨墨をほうむった磨墨塚は鑿坂を上りバス通り

を右へ少し行っただバス停「白田坂上」の近くにあります。

塚の上には明治33年に建てられた碑があり、「正治二年五月十七日埋馬せり云」と刻まれています。

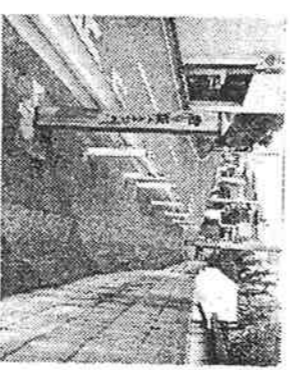
塚の傍には「午(南)あふみ谷子の方(北)駒落の谷」等の指導石があります。

の南馬込三の8あたり、その反対側の谷が鑿がとび落ちたといわれるあふみ谷です。今でも忍ばれる磨墨塚の少し南よりの急な坂をもと鑿坂といっていました。

もと鑿坂と今の鑿坂とは少しはなれていますが、新しい坂を「鑿坂」と名付けた地元の古者たちの心の中には、きつと磨墨の伝説が息づいていたことでしょう。

鑿坂の由来を調べているうち、馬込の地名由来にも行きあたりました。

○磨墨がここに産まれ、塚のあることから名由来にも行きあたりました。



○馬の牧場があったことから馬込といわれた説
 ○その他
 いろいろな説があります、伝説をひもどくのは楽しいことですね。



梅林の大きいなる富士真向ひに
 南馬込一 森岡 達吾
 血を分けたように添ふ今朝の春

つゆ草会 坪井 教子
 冬木立抜けて日射しの濃くありぬ
 つゆ草会 兵藤 芳子
 松過ぎて主婦とかれたる外出かな
 つゆ草会 牧田誠津子
 独り居の父に届けし雑煮かな

つゆ草会 村上 知子
 人の気づかぬほどに梅一輪
 池上俳句研究会 つね
 還ひよりし尻を抱きあげて春炬燵

池上俳句研究会 豊子
 年の瀬のデパートめぐりて時忘る
 早き日暮れに心せはしき
 和泉会 矢島 克子
 支えられ息をととのえ登る坂
 高雄の峰にもみじ訪ねる

和泉会 岸田 光博
 梅雨空に庭の片隅とくだみの
 白き十字に白秋偲ぶ
 和泉会 浜崎千恵子
 わが朝の儀式のごとく仏飯を
 供へ灯にめくる御遺訓

和泉会 佐野志津江
 柳 柳
 課題「巻く」 川柳遊学会

興奮の坩堝のごとくリリグ
 ネジを巻く時計音の音で鳴る
 糸巻きの汚れ達者な母偲ぶ
 悪酔いのだ巻く隣空いてくる

馬込情報

○貝塚中学が大田区教育課題推進校に指定(平成五年四月から)全校生徒、先生とで貝塚公園の清掃活動。ネパールに学校を建設するための資金協力リサイクル運動、全校一斉道徳授業等が一年間行われています。今年度は新たな活動が加わり、より充実した活動が期待できそうです。

○第四次馬込文士村大桜まつり
 日時 四月二日(土)12時半〜4時
 雨天の場合三日(日)
 会場 桜並木通り
 (南馬込4-48〜6-11)

桜並木公園
 今年から馬込地区自治会連合会、馬込商店会連合会と合同で開催することになりました。

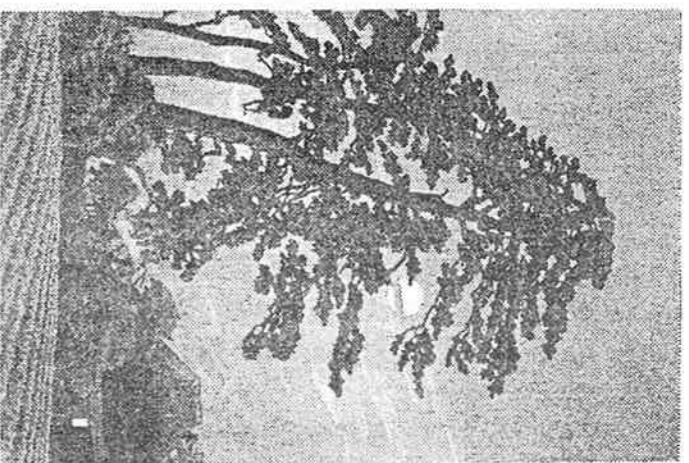
○馬込文化センターまつり
 日時 三月五日(土)六日(日)
 ○昔なつかし馬込の半白きゅうり
 馬込のきゅうりが今も横浜で育っています。馬込のきゅうりを里帰りさせたいと思います。

種を残すために大切に育てられる方があれば、苗を分けていただけます。御希望の方は、当事務局までお取りつぎいたします。

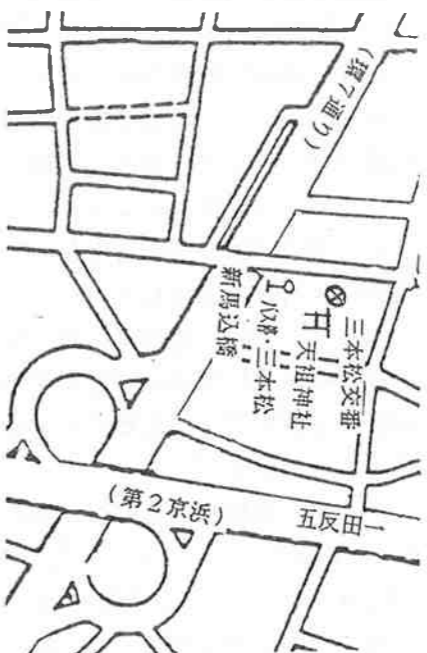
○救急隊に救急救命士
 昨年12月から大森消防署馬込出張所救急隊に救急救命士が乗務、救急処置範囲が拡大されました。

○新しい郵便ポスト
 地元の高い要望で、西馬込駅前(スーパー文化堂側)に新しく郵便ポストが設置されました。

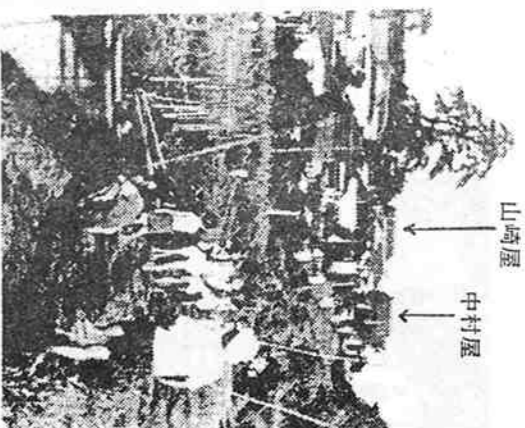
○地下鉄の駅にエスカレーター
 馬込駅環七口(上りだけ)10月にできあがる予定です。



川瀬巴水の「馬達の月」



「ことどもたちが遊んでいるのは、今の環七です。(昭和十一年頃)」



写真提供は坂上カ氏

三本松

幻の三本松

新馬込橋の近くには三本松というバス停があり、バス停の隣りには三本松交番という名の交番があります。

また、このあたりの町会の名前も、当然、「三本松町会」といいます。

新馬込橋の橋柱には、馬込に住んでいた川瀬巴水が三本松を題材とした「馬達の月」のリーフがはめ込まれています。(川瀬巴水の

版画の絵はがきは、郷土博物館で入手できます)

「ことどもたちが遊んでいるのは、今の環七です。(昭和十一年頃)」

うか? どこにも見当たりません。それなのにどうして「三本松」という呼び名があるのか、不思議に思う方もあるでしょう。

この近辺は昔、松の木が多く生えていたので、馬込村字松原と呼ばれ橋名に「松原橋」の名がこっています。

その内でも目立って大きく美しい三本の松がこのあたりに残っていて、色々な呼び名になつていたわけですが。

手植えの三本松

「三本松」ってどんな枝ぶり、どの位大きな松だったのでしょうか。

三本の松は推定樹齢五、六百年。時代で言う足利尊氏時代から太田道灌が江戸入りした時代のころでしょう。

このころ馬込の農民が伊勢講を作り、無事にお伊勢参りから帰ってこられたお礼と記念を兼ねて松の木を植え、そこをお伊勢の森と呼び、伊勢神宮の神様をまつたそうです(今の天祖神社。その内の三本が大きく育つて三本松といわれるようになりました。

松林の多かっただ馬込も、大正12年の関東大震災を境に急速な開発の波がおしよせ、起伏の多い美しい馬込の田園風景も、だんだんと

消えた三本松

消えていきました。

「三本松」ってどんな枝ぶり、どの位大きな松だったのでしょうか。

そして今、あの馬込名物だった「三本松」はなくなつてしまい、バス停などに名を留めただけになりました。

ところで、この度「三本松」の貴重な写真を入手しました(右上の写真)。

この写真は、環七のできる以前の昭和11年ごろのもので、馬込第三小学校の正門あたりから新馬込橋方面を撮ったもので、二本の松

がはつきり写っている珍品です。

巴水の「馬達の月」の松(左上の版画)とこの写真の松は大変よく似ています。

古老の話、あれこれ

私が馬込小学校に入った時(昭和6年)には三本松はありました。二国も環七もできていない頃で、私の家からよく見えました。

昭和9年の室戸台風(風速50米)で三本のうち一本が折れてしまいました。

昭和17、18年になって戦争が激しくなり、アメリカの飛行機の目標になるからと、松の木を切り倒しました。

昭和20年頃まで二本残っていましたが、とうとう自然に枯れてしまいました。

昭和23年にシベリヤから復員したときに、荏原町駅から焼け野原の向こうに三本松を見

たような気がします。

昭和23年ごろは一本松です。大きな一本松がありました。

昭和25年頃までは、また二本あつたような気がします。

どうも人の記憶は50年もたつとあまいになるようです。三本の松が二本、一本、最後に無くなつたのは一体いつなのでしょう。

新生三本松

三本松二世を夢見る人々の手によって、天祖神社の境内に新しい松が植えられてから28年たちました。これが元の「三本松」になるには、あと二百年ほどかかるようです。

「この記事の作成にあたり、多くの方は御協力いただきました。」

編集後記

「わがまちまごめ」も、平成3年9月の創刊号以来、皆様様の御協力を得て、無事に10号(12月1日

号)を発行いたしました。

創刊号〜10号までの記事

◎「ずいからずい」からの芽が

出た話(第2号)

◎馬込小学校の疎開児童が作った人形が岩手の瀧沢寺から馬込へ里帰りした話

◎馬込の名物シクラメンが夏の暑さをきけて、高冷地に移す話

◎乗客がバスの尻おす臼田坂の木

バス(第8号)

◎学校シリーズ(第2〜5号)

◎坂道シリーズ(第8〜10号)

等々、いかがでしたか。

10号発行記念に、馬込マップを作りました。

◎馬込で富士山の見える所

◎桜の花見のできる場所

◎昔話や伝説。古い石塔

◎そして公衆便所のある公園

盛りだくさんのマップです。便利に御利用いただければ幸いです。



10号発行記念に、馬込マップを作りました。